

大谷學報

第二十卷 第一號

昭和六年一月發行

致行信證所引辯正論に就きて

武内 義雄 (一)

安慧造中邊分別論註釋相品虛妄分別相

の梵本

山口 益 (二四)

西域出土の西藏本

石濱純太郎 (六)

愚禿鈔に對する一考察

安井 廣度 (八三)

蓮如上人和歌集

稻葉 昌丸 (一〇三)

和讚の成立年代

多屋 賴俊 (二八)

平康賴傳考

橘 純孝 (二四)

大谷學會秋季公開講演會挨拶

赤沼 智善 (一七)

西藏研究論文總目錄(日本人述作之部)櫻部 文鏡 (一八〇)

學會彙報(一九)。新刊紹介(一五)

大谷大學

大谷學會

大谷學會々則

第一條 本會ヲ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク。

第二條 本會ハ佛敎學、哲學、史學、及ビ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ以テ目的トス。

第三條 本會ノ會員ハ大谷大學敎職員、學生及ビ本會ノ趣旨ニ賛同スル者ヲ以テ組織ス。

第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ。

一、年四回雜誌『大谷學報』ヲ發行シ之ヲ會員ニ頒ツ。

二、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク。

三、隨時圖書ヲ出版ス。

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク。

一、會長 一名

二、理事 二名

三、委員 若干名

第六條 役員ノ職責左ノ如シ。

一、會長ハ本會ヲ代表シ、委員會ヲ總理ス。

二、理事ハ會長ヲ補佐ス。

三、委員ハ庶務、編纂、會計ノ事務ヲ分擔ス

第七條 役員ノ任期左ノ如シ。

一、會長ハ大谷大學々長ヲ以テ任ズ。

二、理事ハ大谷大學學監ヲ以テ任ズ。

三、委員ハ會長ノ指名トシ、任期ハ二年トス。

第八條 會員ハ雜誌『大谷學報』ノ配布ヲ受ケ本會主催ノ會合ニ出席スルコトヲ得。

第九條 會員ハ會費トシテ年額金參圓ヲ納ムベキモノトス。

第九條 本則ハ委員會ノ決議ニ依ルニアラザレバ變更スルコトヲ得ズ。

附則

一、本會ハ佛敎研究會ヲ繼承ス。

二、本會ハ本學ニ於ケル佛敎學、哲學、人文學各研究室所屬ノ研究會ヲ統合スルノモトトス。

三、本則ハ昭和三年一月ヨリ實施ス。以上

大谷學會役員

會長 稻葉 昌丸

理事 稻葉 圓成 梶浦 眞了

庶務委員 磯 合雄 多屋 頼俊

編纂委員 赤沼 智善 鈴木 弘 安井 廣度

德重 淺吉 多屋 頼俊 福井 元澄

南出 勇曉 雨宮 尙治

會計委員 名畑 應順 岡山 操

次號(四月刊)以下掲載豫定論文

韻鏡研究史

龜田次郎

漢文解釋について

湯淺廉孫

題 未 定

名畑應順

悲華經の成立とその佛身觀

西尾京雄

デュルケームの「集團意識命」

福井元澄

金朝の漢尼族統禦策私見

野上俊靜

題 未 定

北條秀雄

眞宗學匠拾遺

岡崎正謙

眞宗の神祇觀

土山文夫

般若經に於ける淨佛國土の思想

加藤智學

前號(十月刊) 目次

眞宗學の印現說

大須賀秀道

支那古代に於ける「無」の思想に就いて

本田成之

維新改革の指導精神

—神武創業の發現につきて—

徳重淺吉

寂然不動の世界

春日良應

瑜伽哲學に於ける *śūnyatā* の概念

龍山章眞

蒙國大詔德化頌碑補攷

諏訪義讓

學會彙報・大谷學報第十一卷總目錄